

保健師	27人(入会率31%)
助産師	41人(入会率84%)
看護師	1,199人(入会率63%)
准看護師	80人(入会率14%)

合計 1,347人(入会率52%)

2020年7月18日現在

# friend's



## 広島県看護協会「廿日市支部会報」第37号

### 看護協会廿日市支部 社会経済福祉研修会

研修演題 「三方よしの対話術」

日時 令和元年10月20日

講師 佐藤 亜弥先生(JA広島総合病院 臨床心理士 公認心理師)



今回の研修では、臨床心理士である佐藤先生の講義と参加者とのグループワークを通じて、「三方よしの対話術」について、学ぶことが出来ました。最近の職場では若手看護師からの報告・連絡・相談がなかなかうまくいかない事もあり、この三方よしの対話術で三方(自分・相手・組織)がそれぞれプラスになるように働きかけることで、若手看護師との関わりも促進する事ができて、効果的な職場環境に繋がる事を学びました。



グループワークでは、患者さんの「死にたい」という言葉に対して、どのような姿勢・言葉・行動をしていくべきかを検討しました。このテーマには正解はなく、その人その人の人生・感情・価値観があり、どのように尊厳を保つべきかを話し合い、そして各グループで発表することで、とても貴重な意見や考えを共有する事が出来ました。



地域看護事業

### あいプラザまつり

日時 令和元年11月2日

講師 あいプラザ



昨年、大好評だったアロママッサージを本年も実施しました。本年も、多くのお客さんが来られたので、お客さん一人につき、約10分で両手のマッサージを行い、一時は順番待ちになるほど大盛況でした。

マッサージを通して、地域の方々と色々な話をする事ができ、「とても気持ちいい」「家でも試してみたい」といった、とても良い言葉をいただき、とても良い経験になりました。その他の「乳がん触知体験」も体験に来られたお客さんはとても関心をもって話しを聞いておられました。



令和1年は、「看護の日・看護週間」制定30周年であり、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの生誕200年です。

令和1年11月15日 廿日市看護協会代表者会議にて、広島県看護協会 川本ひとみ会長が来訪され、令和2年5月に開催される「看護の日・看護週間」30周年記念式典のキャンペーンに関する取り組みを共有しました。



## 看護協会 廿日市支部 救急蘇生法研修会

講師 阿部 伸也先生 (JA広島総合病院) | 日時 令和元年12月15日 | 参加者 21名



今年度は5つの病院から21名の参加がありました。経験年数は新人から10年目のベテランまでいました。5つのチームに分かれ、最初のチームビルディングでは、違う病院の看護師ということもあったのか、緊張している様子が見られましたが、一緒にBLSの実技を行なうにつれて、表情が柔らかくなり、お互いに声を出し合うようになりました。始めの一人BLS法の時はぎこちなかった胸骨圧迫も、二人でのBLS法を行なう頃には自信を持って正確に行えるようになっていました。色々な場面設定でBLSを行なう事で考えながら実技を行なう事が出来ました。最後には統合演習として、各チームで要救助者発見から救急隊が

到着するまでの実技を行いました。

各チームきちんと役割分担を決め、協力し合い、救急蘇生を行なう事が出来ていました。統合演習の振り返りでは、各チーム内で意見を言い合い、学びを深めることができました。

国立病院機構広島西医療センター 副看護師長  
加茂 恒樹



日時/令和2年2月16日  
場所/日本赤十字広島看護大学  
参加者/84名

## 演題

第I群  
座長・日本赤十字広島看護大学 渡邊 聡美

1. デスカンファレンスシートの効率化による意識・チーム力の向上  
廿日市記念病院 佐藤 有花
2. 術後訪問定着にむけた看護師の意識調査  
独立行政法人 国立病院機構広島西医療センター 八符 香
3. 必要な情報を過不足無く伝達することは口頭による申し送りを廃止して可能か  
廿日市野村病院 小林 宏幸
4. 整形外科病等における新人看護師教育の現状と今後の課題  
JA広島総合病院 安尾 由佳
5. 終末期患者の意思決定プロセスの実現  
～アドバンス・ケア・プランニングから考える～  
医療法人あかね会 阿品土谷病院 應和 賢二・天野 智紀

第II群  
廿日市野村病院 信田 良江

6. 神経難病病棟における看護師の葛藤感情と看護実践との関連  
独立行政法人 国立病院機構広島西医療センター 川原 尚子
7. C5頸椎損傷患者の社会復帰に向けたアプローチ  
～排便コントロールへの挑戦～  
アマノリハビリテーション病院 河谷 直樹
8. フィッシュの働きかけによるスタッフのモチベーション向上効果  
～ハッピーメッセージ導入前後を比較して～  
JA広島総合病院 坂口 伽奈
9. 病棟スタッフを対象とした「KYT」と「KY活動」定着の試み  
～アクシデントの減少を目指して～  
医療法人あかね会 阿品土谷病院 吉田 聡美

## 参加者の声

- 他施設の取り組みを知ることができ、参考になった
- 後輩へハッピーメッセージを送ろうと思った
- 日々の看護実践に役に立つ
- 身近な病院がしていると思って、参考になった
- 離職防止についての取り組みはとても参考になった 等々

看護研究を通じて地域施設間との連携や交流を一層深める事ができたと思います♪



# 研修参加報告

令和2年度看護研究会 看護協会・看護連盟共同開催

## 『今、伝えたいこと』 ～新型コロナウイルス感染症の拡大 再び～

日時 令和2年8月22日 場所 広島県看護協会会館

### 1. 「広島県における新型コロナウイルス感染症対策について」

広島県健康福祉局長 田中 剛

### 2. 「COVID-19との戦い」第一波を乗り越え Withコロナの時代へ

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立舟入市民病院 総看護師長 森 麻美

### 3. 「新型コロナウイルス感染症の拡大から」－看護管理者としての静と動－

福山市民病院 看護部長 小阪 奈保子

### 4. 「感染管理看護力とチーム力」

庄原赤十字病院 看護部長 谷口 理恵



今回の研修に参加して、広島県の新型コロナウイルス感染症の最前線で働いている看護管理者の講義を受けさせていただきました。

最前線で働いている看護師は、多くの不安と葛藤を抱えながら、患者さんへの看護を提供していたことが伝わってくる内容でした。

なかでも国家として非常事態宣言が発令され、感染症の受け入れ当該施設として、陽性患者の受け入れをしてから、マスクみやSNSといった対応に追われ、時には誹謗中傷といった世間のプレッシャーから患者さんを守る配慮もされていました。

また、マスクや消毒液といった感染予防に必要な備品不足のなか、広島東洋カープの雨用ポンチョをエプロンに代用するなど、様々な工夫をして乗り切ったことも、今後の対応に非常に参考になると思いました。

地域住民の応援横断幕や広島東洋カープ選手からの激励、地域連携病院の転院患者受け入れ協力、看護師派遣といった多くの支援を他施設と連携と協力したことが、現場で働く職員の精神的な疲労を和らげ、乗り越えることができた話を聞いて、地域の住民・病院・施設等が一丸となって励まし合い、支え合うことが、この感染症の危機を乗り越えていくことが大切になると実感しました。

### EDITOR'S NOTE



令和1年12月からCOVID19感染症の影響により、様々な行事や研修会が中止になりました。今後、感染症の影響による社会情勢の変動が不透明である中、廿日市支部広報として、何を発信していくべきなのか、頭を悩ましています。

このような状況であります廿日市支部の病院やクリニック・事務所等で活躍されている皆様に、少しでも有意義な広報誌であるように努めていきたいと思っております。

広報担当：広島西医療センター 古川 泰史